

川上ダム通信

2016
7
月号



Vol. 130
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

オオサンショウウオの保全対策を進めています！

川上ダム建設予定地を含む木津川流域には、国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオが生息しています。当建設所では、オオサンショウウオに関する環境保全対策の取り組みとして、ダム堤体やダム貯水池となる区域（以下「ダム貯水池」といいます。）に生息するオオサンショウウオを保護してダム貯水池より上流側の河川へ移転させています。また、移転先におけるオオサンショウウオの生息環境の改善として、^{そじょうろ}遡上路^{すあな}※¹や人工巢穴^{すあな}※²を設置するなどの保全対策を行うこととしています。

これまで現地調査や移転先の検討などを行ってきましたが、平成28年1月からは、ダム貯水池に生息するオオサンショウウオの保護・移転の取り組みを開始しました。また、3月末までに人工巢穴を16箇所設置するとともに、井堰等4箇所の横断構造物に遡上路を取り付けました。今後も引き続き、オオサンショウウオの移転や、ダム貯水池上下流における生息環境の改善を進めてまいります。

以上の詳しい内容については、当建設所のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

- ※¹ ^{そじょうろ}遡上路：河川を横断している構造物に、オオサンショウウオが河川上下流へ移動できるように造った人工の通路
- ※² ^{すあな}人工巢穴：オオサンショウウオが産卵や孵化を行うための人工の穴



「とっておきの豊かな川！」 前深瀬川環境美化清掃活動

梅雨入り直前の6月1日（水）、天気、気温ともに最高のコンディションの中、今年で4回目となった前深瀬川の清掃活動を実施し、例年を大きく上回る総勢21名の事務所職員が参加しました。

本清掃活動は、木津川との合流点付近より前深瀬川の上流に向かって（新羽根橋～大井手橋において）アユ漁の解禁前に、少しでもきれいな河川にしたいという趣旨のもと実施しているものです。

例年よりも雑草の育ち方が早かったのか、背丈ほどの草に分け入り、かくれたごみを探し出しながらの作業となりましたが、約2時間の清掃活動を行いました。



背丈ほどの草に囲まれての清掃活動



清掃活動終了後に参加者全員で記念撮影



ごみの分別も確実に行いました

昨年までと比較すると、粗大ごみはなかったものの缶やペットボトル等の家庭ごみを中心に30袋のごみを拾い集めました。

作業を通じて気づいたことは、不法投棄をしやすい橋の直下や駐車スペースがある付近に、特にごみが多かったことです。ごみをポイ捨てする人の心理はよく分かりませんが、ごみは決められた場所及び時間に捨てるべきだと改めて感じた次第です。前深瀬川を始め公共の場をみんなが気持ちよく利用するためにはモラルを守って行動することが大切です。読者の皆様も是非ご協力をお願いします。

今回の清掃場所付近の前深瀬川は、アユの漁場としても知られており、今年も「数も大きさも」大変期待できそうです。伊賀川漁協管内では、6月12日（日）よりアユ漁が解禁されています。清掃活動でキレイになったアユの漁場での友釣りを、楽しんでみてはいかがでしょうか。

【第一用地課 渡辺協】

事業評価監視委員会で『事業継続が妥当』と評価

6月21日（火）、近畿地方整備局の事業評価監視委員会（平成28年度第1回）が開催され、審議案件の一つとして川上ダム建設事業の事業再評価が審議されました。事業再評価は国土交通省が定める再評価の実施要領に基づき行われるものです。委員会においては資料に基づき説明し、最後に「対応方針（原案）」をお示ししました。審議の結果、提案した対応方針（原案）のとおり「事業継続」することが妥当との判断をいただきました。

今回の委員会でいただいたご意見も踏まえ、川上ダム早期完成を望む地元や流域の声にも応えられるよう、引き続き全力で事業に取り組んでまいります。



【所長 加納茂紀】

雲上を駆けた青山高原マラソン

6月5日（日）、29回目となる「青山高原つつじクォーターマラソン大会」が開催され、前日からの雨が残る気温9℃のなか、1,000名を超える健脚達が集いました。当建設所からも編集長（加納所長）と筆者の2名が、10.55kmの部に挑戦しました。

伊賀国と伊勢国にまたがる青山高原は、標高600m～900mの山々が連なり、スカイラインを車で走れば緩やかな上り下り、伊賀盆地や伊勢湾を望む絶好のロケーションがそこにあったはず...



緊張のスタート前（10.55kmの部）



筆者（左）、編集長（右）2名とも無事に完走！

ですが、自分の足では相当な高低差、特に10km手前からゴールまでの登りがきつく、汗か涙なのかわからないものが頬を伝わる始末。沿道で応援してくださった方々の熱い声援を受けて、登りきってなんとか完走。達成感はとてつもなく大きい。

最後に、今年は雲の中を駆け抜ける大会となりましたが、30回目となる来年は違う風景が望めることを願うとともに、悪天候にもかかわらず沿道やゴール付近で参加者達を盛り上げていただいた地域の方々、大会関係者の方々に感謝いたします。

【工務課 小谷口雅義】

千方(ちかた)のウォーキング&餅まき

5月22日（日）、伊賀市高尾で開催された千方のウォーキング&餅まきに参加しました。この行事は、高尾地区住民有志で活動している「千方伝承会」が、この地域に伝わる伝説の將軍ふじわらのちかた藤原千方にちなんで実施しているものです。

子供から年配の方まで大勢の参加があり、千方伝承会の案内により千方が立てこもったとされる岩城ちかたくつ「千方窟」まで高尾地区市民センターから約1.5kmのウォーキング、千方窟での説明を受けた後は、市民センターへ戻り、千方伝説「千方とよんき四鬼」の紙芝居が披露されました。



藤原千方も登った??山道をウォーキング



餅まきを楽しむ参加者の皆様

最後はお楽しみの餅まきです。平安時代風の装束をまとった千方將軍（加納編集長）と四鬼によって、生姜入りの忍者（ジンジャー）餅、よもぎ餅、紫芋餅、白餅の四種類の餅が、参加者に向けてまかれました。

千方窟は川上ダムが建設される前深瀬川の上流地域に位置します。千方窟までの山道の手入れ、この行事の準備、進行、案内など地域振興のため活動をされている千方伝承会及び地元の方々のご尽力には、頭の下がる思いです。すばらしい体験をさせていただきありがとうございました。

【総務課 大西誉朗】

ダム用語集 Ⅶ 多目的ダム

今回のダム用語集では、ダムの目的別に区分される名称のひとつである「多目的ダム」について紹介します。

ダムの目的には、洪水調節（治水）、農業用水、水道用水、工業用水、発電、流水の正常な機能の維持（既得用水の補給、河川環境の維持等）などがあります。これらの中から2つ以上の目的を兼ね備えたダムを一般的に多目的ダムと呼んでいます。

なお、狭い意味で、複数の目的のひとつに洪水調節を含むダムを多目的ダムと呼ぶ場合もあります。

川上ダムも、①洪水調節、②水道用水（伊賀市）、③流水の正常な機能の維持の3つの目的を有しているため「多目的ダム」に分類されます。

伊賀市近隣で水資源機構が管理する、青蓮寺ダム、比奈知ダム、高山ダム、室生ダム、布目ダムも「多目的ダム」に分類されます。暑さ厳しいこの季節、涼を求めにダムめぐりをしてみては如何でしょうか。

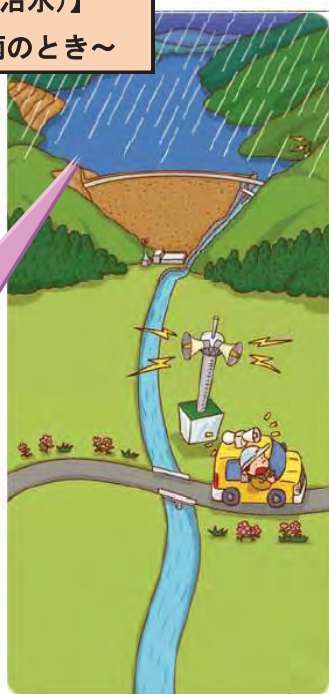
ダムのはたらき（目的）

【工務課 小野周平】

【洪水調節（治水）】

～台風時等大雨のとき～

ダムに水を貯めることで大水の被害を少なくします。



【農業用水、水道用水、発電等】

～貯めた水を利用します～

ダムを利用して発電します。

田んぼや畑に水を送ります。

家庭で使う水を送ります。

工場で使う水を送ります。



イメージ図（岩屋ダムホームページより）

イベントのお知らせ

第32回 青山夏まつり

開催日：平成28年7月17日（日）
開催場所：伊賀市青山支所横 青山ホール前
問合せ先：青山夏まつり実行委員会
TEL：0595-52-0438

布目ダム見学会

開催日：平成28年7月24日（日）
開催場所：奈良県奈良市北野山町 869-2（布目ダム）
問合せ先：水資源機構 布目ダム管理所
TEL：0742-94-0231

さかやなぎ おうけつ 逆柳の颯穴まつり

開催日：平成28年7月31日（日）
開催場所：伊賀市高尾 逆柳の颯穴
問合せ先：千方伝承会 年岡氏
TEL：080-2613-1880



編集後記

世界の注目を集めた「伊勢志摩サミット」が開催され不安視されていたテロ等の発生も無く、無事に2日間のプログラムを終えました。

近畿地方は、平年ですと7月21日頃には梅雨明けとなり、子供達は夏休みに突入するシーズンとなります。これを機に各国首脳も訪れた伊勢神宮、賢島等へ足を運ばれては如何でしょうか。

私は、夕食会の場で各国首脳が飲まれ入手困難となっている「乾杯酒」を味わってみたいものです。

【広報誌発行事務局】

編集長 加納（所長）
デスク 大西（総務課長） 小谷口（工務課長）
記者 谷村（総務課） 富士澤（第一用地課）
八重樫（第二用地課） 山本（調査設計課）
清水（環境課） 小野（工務課）